

北海道教区報

第532号

発行所

天理教北海道教務支庁
札幌市中央区南8条西11丁目
電話011(561)-1148
FAX011(561)-1190
E-mail:kyouku-h@vega.ocn.ne.jp

印刷

三浦印刷株式会社

福祉おつとめ総会開催

北海道教区福祉厚生部（伊藤逸雄部長）は、11月3日、教務支庁において、福祉厚生部おつとめ総会を開催した。

この日集まったのは支部福祉担当者20余名。午前10時、高橋政嗣総務部長の手にあわせて三殿を礼拝。後、鳴り物の音もさわやかに、陽気に坐りづとめ、十二下りのおつとめがつとめられた。



終了後、「運命をひらく」と題して、本部長・前修養科主任・中山慶純先生の記念講演が行われた。

おつとめ総会参加者と、この日の講演を楽しみに道内各地から参集した教会長、婦人、若くは信者ら計70余名が、講師の先生の豊富な経験と深い信仰からにじみ出たお話に、真剣に聞き入った。

第28回女子青年大会



10月30日 夕張大教会



11月5日 雨龍大教会



9月18日 網走大教会



10月30日 函館（松風分）

これまで道内5会場で開催され、あと1会場（12月3日教務支庁）210人が参加。

12月10日(土)～11日(日)

・日時：10日午後2時～11日午後3時

※おつとめは、11日午前9時より

- ・少年会わかぎの集い
- ・内容：少ひDVD鑑賞、ゲーム等
- ・持ち物：おつとめ着、風呂道具等
- ・参加費：500円
- ・学生会おつとめ総会
- ・対象：高校生・大学生・専門学生
- ・持ち物：お米3合、ハッピ、宿泊風呂道具、おつとめ着
- ・参加費：千円

天理教基礎講座

報告 11月6日(日)

教務支庁

講師 弘長 健 先生

参加者 29名（未信者5名）

当日の札幌は、雪が降り積もり最低気温は氷点下。そんな寒さの中、旭川からの受講者もありました。



次回は

12月4日(日) 13時30分

教務支庁会場

福祉おつとめ総会 記念講演より (抜粋)

「運命をひらく」

元修養科主任・あきよ志分教会前会長

本部長 中山慶純先生

今日の演題は「運命をひらく」

となつてますが、運命はどうなるかわからんね。この年齢になると、道中にはいろいろありましたが、ちょっとは勉強させて頂いた。

弱つてくると電車に乗っても大変です。電車が動いた途端に、腰が弱いからふらつとしました。すると目の前のお嬢さんが「どうぞ」と席を空けてくれた。偉いよねえ。

席を譲つた方と譲られた方。何ともないように思いますが、席を譲ってくれた方へ、譲られた人の徳がスーッと流れていく。これは「徳の分配」なんです。楽をさせて頂くということは、その分誰かが苦勞をするんですね。

楽をして楽をして、そういう人生をずうつと送っていたら、いつの間にか徳はゼロになる。だからまた貯めていかないとけません。その早く貯めなさいよという催促、これが神様のおて

いれでしょう。

「幸せになる癖」

子供達にお道の話をするとき、ご教理をストリートに言つてもわからんね。親はそれでも陽気ぐらしの方向に進んでほしいから聞いてほしいんです。聞いてくれないなら行動してもらえ、或いは、考え方を教えに添わせてあげたい。例えば子供がいろいろと悩みを言ってくるとき、その時にヒントを与える。



「そうか、そういう時はないっぺん水を大事にしてごらん」とか「ごはんを食べる時に、美味しいなあという言葉を今度言つてごらん」と言う。こういう風

に子供達に知らず知らずに幸せになる癖をつけてあげる。そうすると、幸せになる言葉が出るようになる。落ちてるゴミをさつと拾える子供になる。

こうしておけば、心はまだできていなくても、行動はすでに良い方向に動き出している。そうするといつか何かあつた時に、教祖の教えの理を伝える話ができるようになるんです。

修養科が終わるときにも、「帰つたら日参するんだよ。また何かあつたら月参りだよ。教会に行こうね。ひのきしんもしようね」と色々言います。「はいわかりました」と帰りますが、会長さんに聞いてみると「月次祭にはたまに出ますよ」という感じですよ。

自分の都合のいいように聞いているよね。神様の都合に合わせていない。ひのきしんでもそうです。例えば、お店でも流行っている店とそうでない店がある。流行つてない店の人に「あなた、店掃除しますか」と聞くと、「掃除？そんなの商売に関係ないでしょう」と言う。だけど繁盛している店は、特に店の前の掃除、あるいは窓ガラスをピカピカに磨いています。すぐには反応は無いけど、必ずお

客さんが増えると言います。これは実際にあるらしいですね。

人に教えられることは、みんな神様の声だと思ふ。色々な人の話をスーッと心に治めていき、自分のものにして成人させてもらおうと思ふか思わないかの差が、「幸せ・不幸せ」の差となつていきますね。

「心の出口」

ある会社の社長さんが、会社の役に立つ人材を採用するポイントとして、「鼻が効く人間」「気が利く人間」「声を聞く人間」この三つに絞つたそうです。

「鼻が効く人間」とは、読みが深い。将来どうなつていくか、どういう方面に力を入れたら伸びていくか、つまり先を読み実行していく力がある人。

「気が利く人間」これはもう誰でも言いますが、この場面では何が必要か、この上司は何を求めているのか、どうしたら喜んでくれるか。こういう機転の利く人間です。そして「声を聞く人間」この人間は、言つたことを素直に聞いて、そしてそれを肥やしにして成長を続ける人間なんです。ようぼくならばこの三つは確り持つておきたい。松下幸之助さんが会社の面接

試験で何を見るのか。それはその人の性格を見るんです。どういう精神か。そのためにすることは、面接室の入り口に人を置いて、「面接が終わつて出て行くときの行動を、克明に教えなさい」と言うんです。出口ではその人の気持ち、精神が全部出る。それでそういうところをチェックさせたいんです。

この「出口」がいかに大切かという事を考えると、つまり心の出口が大事だよということになります。「心の出口」とは、つまり口から出る言葉です。言葉遣いにその人の気持ちが、本性が出るんですよ。

だから言葉で人を喜ばせているか、楽しませる、勇ませることをしているか、逆に、泣かせていないか、辛い思いをさせていないか。こういうことを親神様はじーつとご覧になつていらっしゃるんです。

親神様が判定されるのは、陽気ぐらしを目指した生き方が出ているのか、それとも背いているのか、これを判断される。ですから周りの人に嫌な思いをさせながら、何十年も暮らしていたら、やっぱり苦勞はついてきます。

「親神様のお働き」

それもこれも全部言葉が元になる。ですから言葉の選び方が大切なんです。例えば朝起きたとき「ああ、嬉しいなあ。今日も目が覚めてよかったなあ」と喜んで飛び起きるところが「ああ、また朝か、もう目が覚めてしまった」なんてことでは、親神様はもうがっかりされるんだね。

夜中に息を引き取る人がかなりいるでしょう。夜中というのは、人間がなんぼ頑張ってもだめなんです。全て親神様の働きで命を続けて下さっている。その事を考えると、生きて一日を迎えるということは本当に素敵な事なんです。

私達は教祖のご教理で勉強して説いていますけども、最近では、科学者やドクターがいろんな研究をして、その論文の中でご教理を証明しているものが随分出てきていますね。これはみな、親神様が自身でその事を証明しようとなさっているように思えてくるんです。

「声に出して祈る」

この時期になると落ち葉が落ちてきて、みんな自分の家の前を掃除しますよね。でも「よう

ぼく」という人は、よその玄関の前もできるんです。やはり世間から見ても「どこか違うなあ」これがようぼくなんです。

祈りもそうです。人間というのは、神様の前に行ったら自分のことをお願いしたくない。だけど、自分のことは言わないで人様のこと言っていると、親神様の耳はそっちに来るわけですよ。「おっ、こいつはなかなかすげえもんだ」とね。

皆さん方、祈るときに声を出して祈ったことがありますか？ あんまりないでしょ。となりに家内がいて、家内のことを祈るなら、声に出して祈って下さい。そうすると、「まあ、この人私のことを一生懸命祈ってくれたわ」と喜んでくれてグッと近づくんなんです。家族でも一緒。相手の心をウキウキさせる、喜ばせる。これがたすかる元になるんです。

「低い心で」

にをいがけやおたすけに行つて、この人何とかたすかってもいいと思うときありますね。そういう人にいきなり「おつとめ行きましょう」と言つても動かない場合がある。だって「あなたの生活を少し変えて

みませんか」って。生活力を変えてもらう。「生活力ってなんですか」これはひながたが一番わかりやすい。「水を飲めば水の味がする」とか「優しい心になりなされや」とか「低う低う通りなさい」ということ。私達は、その人が上手くないかない理由を探してあげる。「もうちょっと低く通つてごらん」とね。低いと色々徳が集まってくる。相手を喜ばす方向に行くわけなんです。

「低いほどいいんだよ。屈んで頭を下げて進む姿を神様はよろこびだよ、そうすると運命はグーツと昇り出す。のけぞって歩いてごらん。運命はどんな下がって行くよ」こういうことを言うんです。

低い人ほど神様は喜びです。ようぼく同士居たら、どっちが低いだらうか、これをじーつと見ておられる。低いって事は、相手を上げた方がいいわけですよ。そうすると相手の下に入った自分が神様の目にとまって上手いくわげなんです。ご静聴ありがとうございます。

次なる塚へ、先導する我等たれ!!

【布教部・災救隊・青年会合同研修会】

三部会では11月1日教務支庁に於いて、各支部での布教活動を一層推進したいとの思いから合同で研修会を行った。研修会に先立ち、青年会は前日に、布教部、災救隊は同日に会議を開き、これからの活動についての話し合いがなされた。午後3時、美田教区布教部長のあいさつから研修会が始まり、続いて講師の田浦道則先生（新潟教区主事、湖東部属河原田分教会長）より講話があった。講話では「せつかくこの道を通るのだから自ら求めて積極的に歩もう。一人でもやるんだという気概を



持とう。そして自分の夢を叶えよう、夢に向かって努力をしよう。」と力強く話された。これを受け、各支部ごとに分かれ三者揃つてのねりあいを行った。今回はPDCAサイクル(注)



を基に、支部の布教活動の実状を検証することから始め、拡充前進するためには何をどうするのか、具体的に話し合われた。研修会の終わりには、先を見据えた活動となるよう計画書を書いた。三部会では計画書を取りし、活動のサポートを行うこととしている。また、来年も同時期に研修会を計画している。研修会参加者73名

※注PDCAサイクル（マネジメントサイクル）P Plan（計画）これからすることを考える。D Do（実行）計画したことを実行する。C Check（評価）結果が良かったか悪かったか判断する。Act（改善）見直しをかけて次の計画に進む。このらせん状のプロセスを繰り返すことで向上、推進、維持が出来る。

北海道教区

修理人紹介

(平成28年10月25日就任)
任期3年
修理巡教開始2月、
函館・渡島・八雲・倶知安・
余市・小樽・札幌4支部・室蘭

南西
前川治夫先生
(本部員・営繕部長 57歳)



中央
板倉知幸先生
(本部准員・福祉課長 50歳)



東
安野素彦先生
(本部准員・輸送一課長 44歳)



新教会長さん紹介

(平成28年10月26日お運び)
倶知安支部
正安分教会(敷島)
奉告祭 11月5日



松本修氏 (52歳)

余市支部おつとめ総会

余市支部(森明支部長)では、お天気に恵まれ10月30日積丹分教会を会場におつとめ総会を開催した。9時30分より、座りづとめ、よろづよ八首(青年会、女子青年、学生会、少年会)、前後半の4交代で、てをどりをとつとめた。

式典では、教区長祝辞、支部長挨拶(各会の会務報告も含む)、休憩の後感話では、支部青年会委員長、支部内の教会役員2名が、布教の家での体験談、そして何度も神様からお手入れをいただき御守護をいただいた母から父へのにをいがけ、布

教所の元一日について話され、みな真剣に聞き入っていた。

直会では、特製のカレーにトッピングはピーマン、かぼちやなどのボイル野菜、そしてトマト鍋と心のこもった美味い食事に堪能し、お楽しみのピニングでは、「リーチ」「ピング」と会場内には力のある大きな声が飛び交い、大いに盛り上がり、午後3時過ぎに散会した。参加者49名。



布教の家北海道寮、寮生大募集!

ひながたを実践しよう 喜びを実感しよう
北海道の地で、信仰の喜びを味わう一年間になります、是非ご入寮下さい。

「1面の福祉おつとめ総会記事より 続く」

この福祉おつとめ総会の前日、11月2日の午後3時から、平成28年度後期支部福祉担当者会議が、同じく教務支庁で開催された。道内各地から17名が参加、今年度の活動内容と、特に献血活動推進について熱心に練り合いが行われた。また、夕づとめ修了後、中山慶純先生を囲んで親睦会が行われた。(担当・古川記)

けいじばん

◎法律に関わる諸問題で相談の方は弁護士を紹介致します。教務支庁内の書記(渡部)までご連絡下さい。

◎手話・点字講習会
毎月1日、教務支庁にて午後6時から8時まで行います。※雅楽練習会も併行して開催しています。(三布連)

◎毎月26日10時より、本部月次祭遙拝式をおこなっております。(ごつぞ)参拝下さい。

全教野球大会報告

北海道教区チームは、1、2回戦を大差で勝ち上がったが、3回戦で優勝の岐美大教会チームと当たって惜しくも敗退した。応援ありがとうございました。

計報

- ・ 榊田 正信様 10月11日出直 (87歳)
- ・ 久遠分教会前会長 (渡島支部)
- ・ 黒沼千代子様 10月18日出直 (92歳)
- ・ 北歳分教会前会長夫人 (南空知支部)
- ・ 進藤リエ様 10月19日出直 (92歳)
- ・ 北亀田分教会長 (渡島支部)
- ・ 眞鍋美雪様 10月20日出直 (65歳)
- ・ 本三川分教会長 (南空知支部)
- ・ 小松 基泰様 10月29日出直 (84歳)
- ・ 網陽分教会長配偶者 (網走支部)
- ・ 工藤 文子様 10月29日出直 (63歳)
- ・ 北茅分教会前会長夫人 (八雲支部)
- ・ 奥山 保様 10月30日出直 (70歳)
- ・ 上武華分教会長 (北見支部)

北海道教務支庁日誌抄

- 10月22、23日 学生会例会
 - 26日 本年秋季大祭遙拝式
 - 30日 学生担当委員会
 - 30日 支部担当者研修会
 - 31日 図書修理会
 - 11月1日 たすけ推進会議
 - 11月1日 布教部・災救援
 - 2日 青年会合同研修会
 - 2日 支部長会議
 - 3日 福祉厚生部
 - 3日 福祉おつとめ総会
 - 4日 任命願書発送
 - 6日 第181回基礎講座
 - 18日 教区報編集会議
- 教務支庁会場
本部講師 弘長 健 先生
(天理教周東大教会長)
(受講29名 累計8千116名)